

# 平和の尊さを伝えたい

## 広島派遣の中学生 報告会と解団式

岡谷市教育委員会は21日、市内4中学校の生徒20人を広島市に派遣した平和体験研修の報告会と派遣団の解団式を岡谷市役所で開いた。8月5日から7日まで猛暑の広島市に滞在し、原爆ドームの見学などで平和について考えた中

学生たちが一人ひとり感想を発表。『平和リーダー』として、クラスメートや周囲の人たちに体験を語り、平和の尊さを伝えることを改めて誓った。平和体験研修派遣は次代を担う中学生に戦争の悲惨さや命の尊さを継承しようと、2

001年から続く事業。コロナ禍で中止していたが4年ぶりに実施した。中学生たちは報告会で「平和記念資料館で当時の写真を見て、強い恐怖を感じた。言葉にできない衝撃だった」「核兵器の廃絶には国家間の対話と国際協力が必



広島での平和体験研修の感想を発表する中学生

要。どうやって減らせるか、今後にできることを考えたい」などとそれぞれ発表した。

派遣団団長の守屋守岡谷南中学校長は開会あいさつで「解団式がゴールではない。君たちが広島で体験・経験した事、感じた事を一人でも多くの人に伝えてほしい」と呼び掛けた。

生徒たちはそれぞれの感想などをまとめ、各校の文化祭でも発表を予定している。